

今、憲法を変えるための「国民投票法案」が国会においてつくりあげられようとしています。しかし、この国民投票法案、どうして今つくられようとしているのでしょうか？

国民投票法の制定。それが何故今なのか、そこに眼を向けるとき、平和憲法の破壊を求める声の隠された意図が明らかになってきます。

本集会では、著名な渡辺治教授の鋭い視点で、改憲と国民投票法の問題をやさしく説き明かします。

また、国民投票法案それ自体も大きな問題点を含んでいます。

国民投票の主体、選択肢を与えない一括選択、「過半数」の捉え方、憲法「改正」案自体についての運動の禁止など、「国民」の意思を問うべき制度を骨抜きにするかのような内容が目白押しとなっています。

この国民投票法案の問題について、今や法曹界を代表するともいべき笠松健一弁護士が講演をいたします。

両講演とも、とても貴重な講演です。

私たち自由法曹団は、この機を失わず一人でも多くの方に参加していただきたいと心から願っています。一人でも多くの方が現在の日本が置かれている危険な状況を認識し、未来に生きる私たち、また私たちの子供たちのために何ができるのかを考えるきっかけとなればこんなに嬉しいことはありません。

4月6日にお待ちしております。

— 自由法曹団

# 何故今、国民投票法をつくらせようとしているのか

